

3 愛媛県のイメージ

問26 現在の愛媛県のイメージ

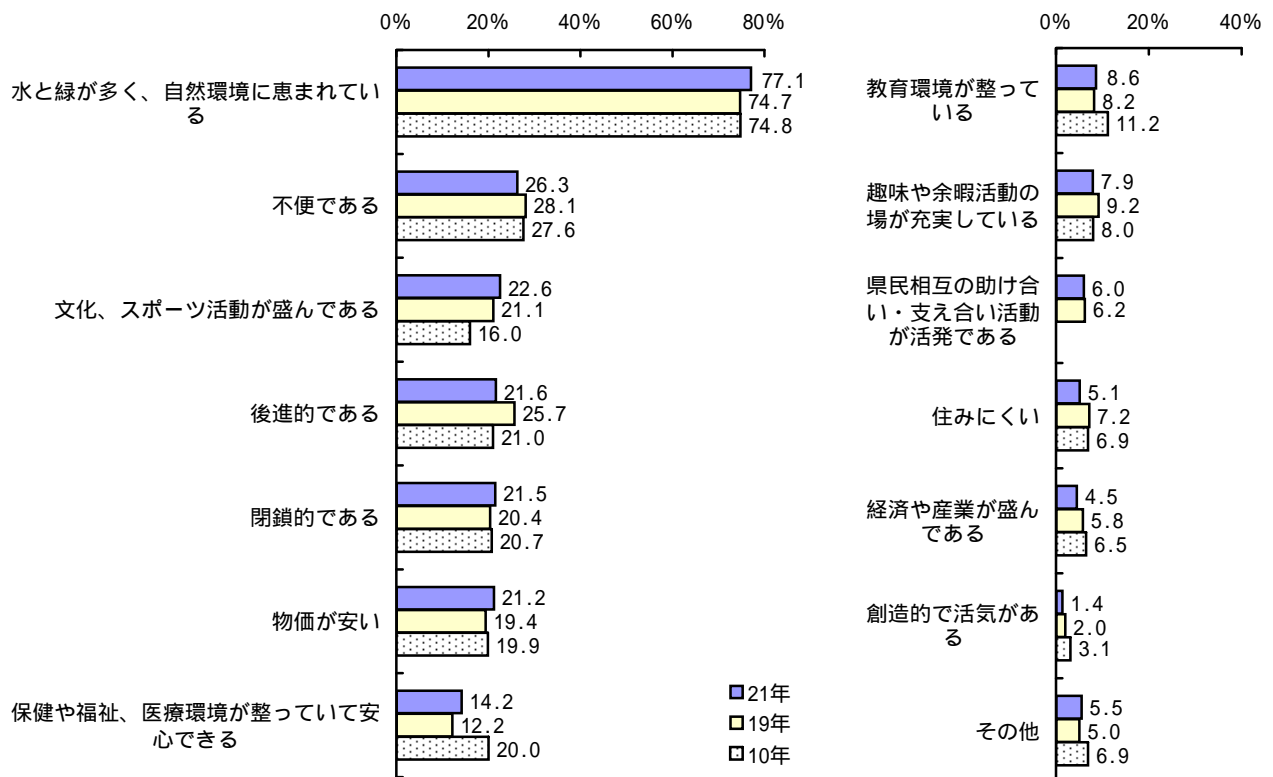
あなたは、今、愛媛県をどんなところと思っていますか。あなたのイメージに近いものを次の中から三つまで選んで番号を で囲んでください。

(複数回答) (%)

| | | |
|----|------------------------|------|
| 1 | 水と緑が多く、自然環境に恵まれている | 77.1 |
| 2 | 物価が安い | 21.2 |
| 3 | 経済や産業が盛んである | 4.5 |
| 4 | 教育環境が整っている | 8.6 |
| 5 | 保健や福祉、医療環境が整っていて安心できる | 14.2 |
| 6 | 趣味や余暇活動の場が充実している | 7.9 |
| 7 | 文化、スポーツ活動が盛んである | 22.6 |
| 8 | 創造的で活気がある | 1.4 |
| 9 | 県民相互の助け合い・支え合い活動が活発である | 6.0 |
| 10 | 後進的である | 21.6 |
| 11 | 住みにくい | 5.1 |
| 12 | 閉鎖的である | 21.5 |
| 13 | 不便である | 26.3 |
| 14 | その他 | 5.5 |

愛媛県はどんなところかイメージを聞いたところ、「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人の割合が77.1%と特に多く、以下「不便である」(26.3%)、「文化、スポーツ活動が盛んである」(22.6%)、「後進的である」(21.6%)、「閉鎖的である」(21.5%)などの順となっている。

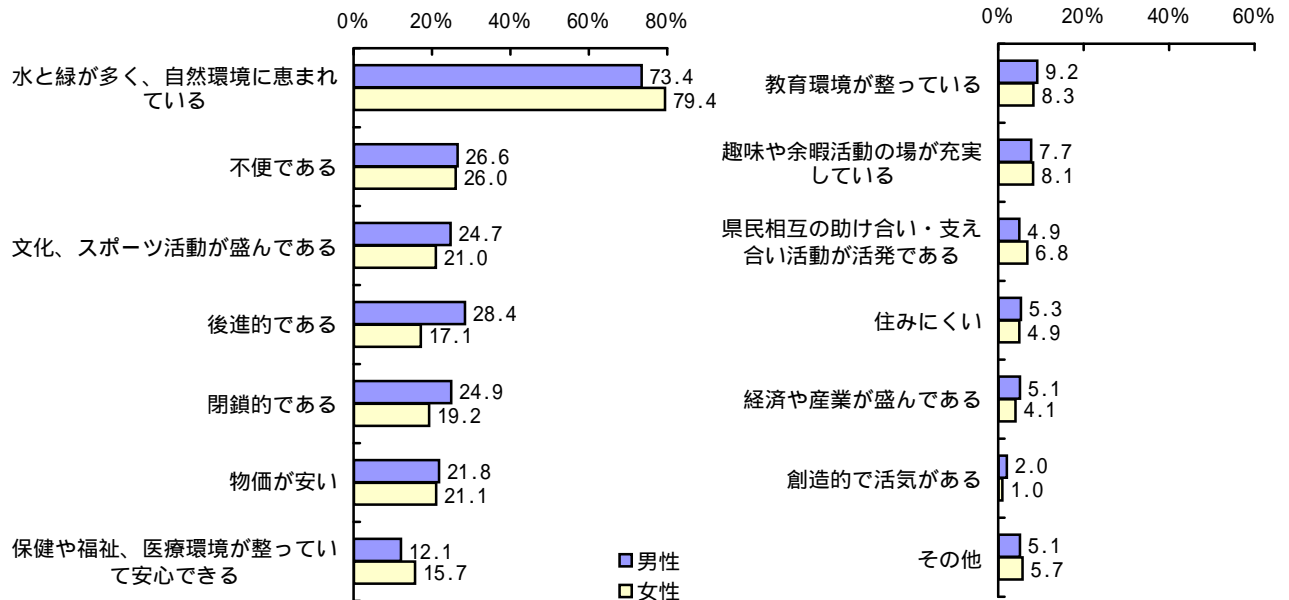
また、前回調査と比較すると、全ての項目において大きな変化は見られないが、「文化、スポーツ活動が盛んである」と答えた人の割合が1.5%増加(平成10年調査より6.6%増加)し第3位となっているほか、「保健や福祉、医療環境が整っていて安心できる」と答えた人の割合が2.0%増加(平成10年調査より5.8%減少)している。



【性別】

性別にみると、男女共に「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人の割合が特に多くなっており、特に女性（79.4%）の方が男性（73.4%）よりも6.0%多くなっている。

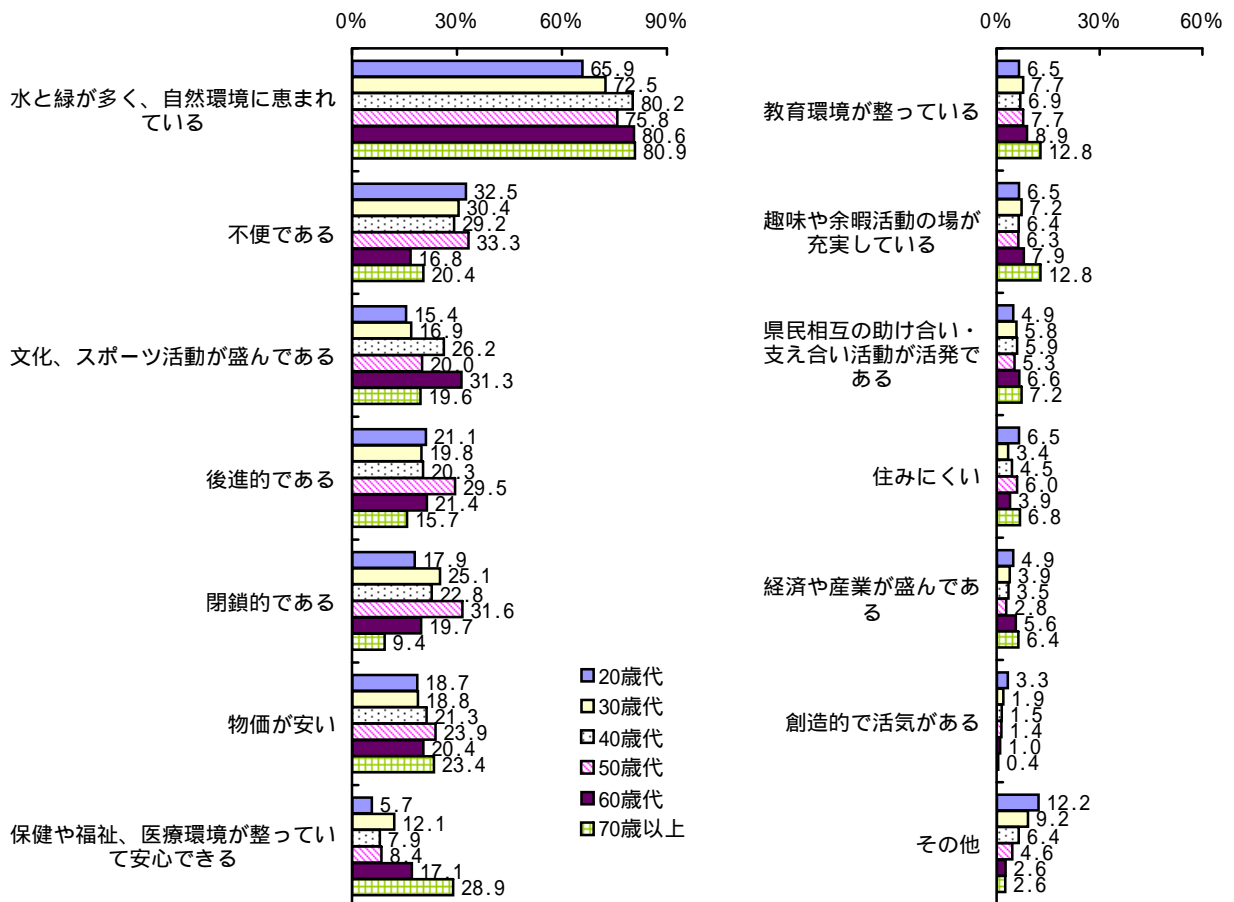
また、「文化、スポーツ活動が盛んである」、「後進的である」、「閉鎖的である」などは男性の方が多くなっており、特に「後進的である」は男性の方が11.3%（前回調査では10.1%）多くなっている。「保健や福祉、医療環境が整っていて安心できる」などは女性の方が多くなっている。



【年齢別】

年齢別にみると、全ての年齢層で「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人の割合が多くなってきているが、20歳代では65.9%と他の年齢層と比較して少なくなっている。

また、「不便である」と答えた人の割合は60歳代以上で他の年齢層と比較して特に少なくなっているほか、「文化・スポーツ活動が盛んである」は40歳代（前回調査より10.6%増加）、60歳代（前回調査より8.9%増加）で、「後進的である」及び「閉鎖的である」はそれぞれ50歳代で、「保健や福祉、医療環境が整っていて安心できる」は70歳以上で他の年齢層に比べて多くなっている。

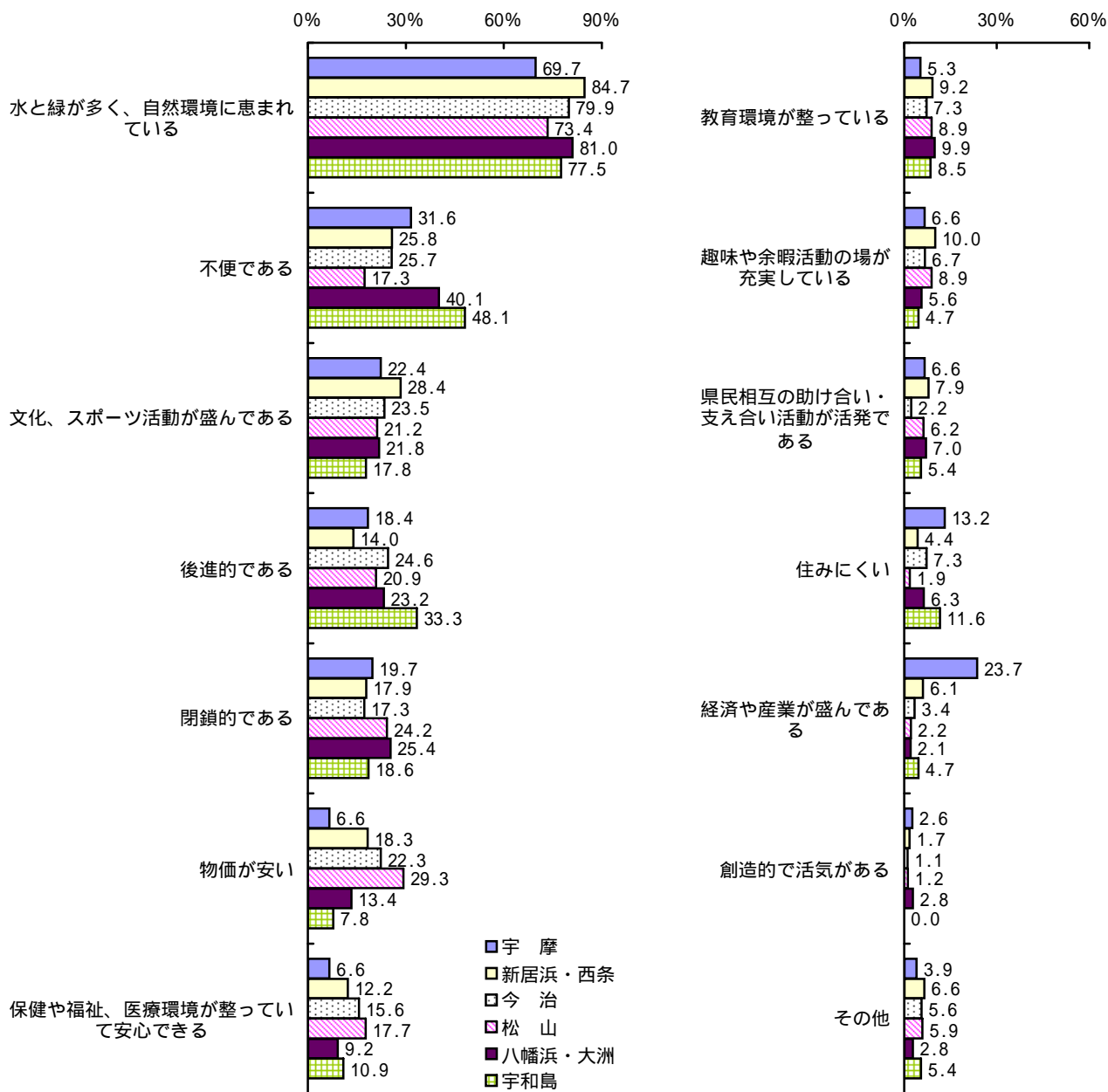


【生活圏域別】

生活圏域別にみると、全ての圏域で「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人の割合が特に多くなっているが、宇摩圏域では69.7%と他の圏域と比較して少なくなっている。

また、「不便である」と答えた人の割合は八幡浜・大洲圏域、宇和島圏域で、「文化・スポーツ活動が盛んである」は新居浜・西条圏域で、「後進的である」は宇和島圏域で、「物価が安い」は松山圏域で、「住みにくい」は宇摩圏域、宇和島圏域で、「経済や産業が盛んである」は宇摩圏域（前回調査より12.1%減少）で他の圏域と比較して多くなっている。

この他、「物価が安い」と答えた人の割合が宇摩圏域、宇和島圏域で、「保健や福祉、医療環境が整っていて安心できる」は宇摩圏域、八幡浜・大洲圏域で他の圏域と比較して少なくなっている。

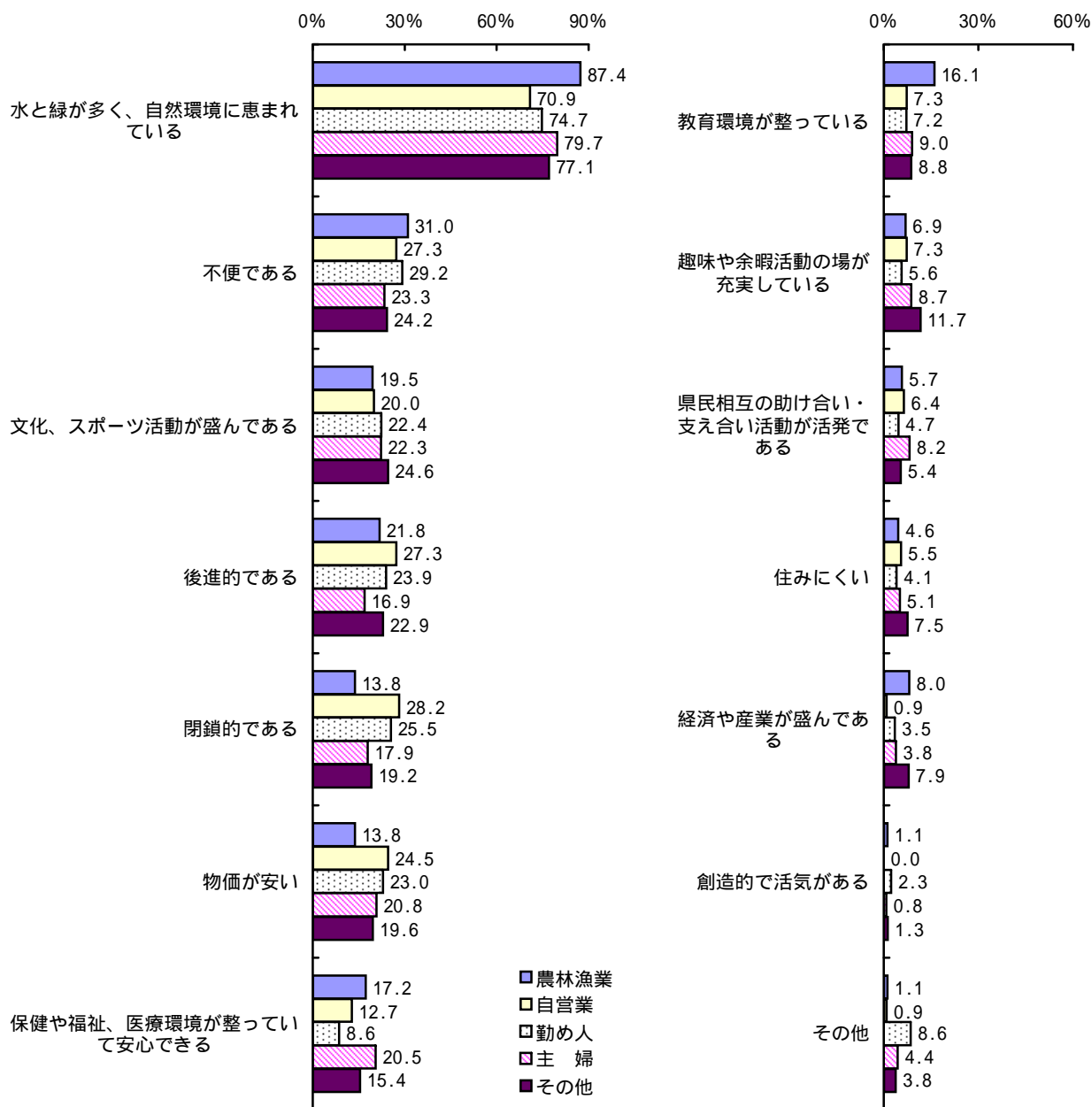


【職業別】

職業別にみると、全ての職種で「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人の割合が特に多くなっており、中でも農林漁業では87.4%と他の職種と比較して多くなっている。

また、「不便である」と答えた人の割合は農林漁業、勤め人で、「後進的である」は自営業（前回調査より8.5%減少）で、「閉鎖的である」は自営業、勤め人で、「保健や福祉、医療環境が整っていて安心できる」は主婦で、「教育環境が整っている」は農林漁業で他の職種と比較して多くなっている。

この他、「閉鎖的である」、「物価が安い」と答えた人の割合が農林漁業で、「保健や福祉、医療環境が整っていて安心できる」は勤め人で他の職種と比較して少なくなっている。



問27 将来なっしてほしい愛媛県のイメージ

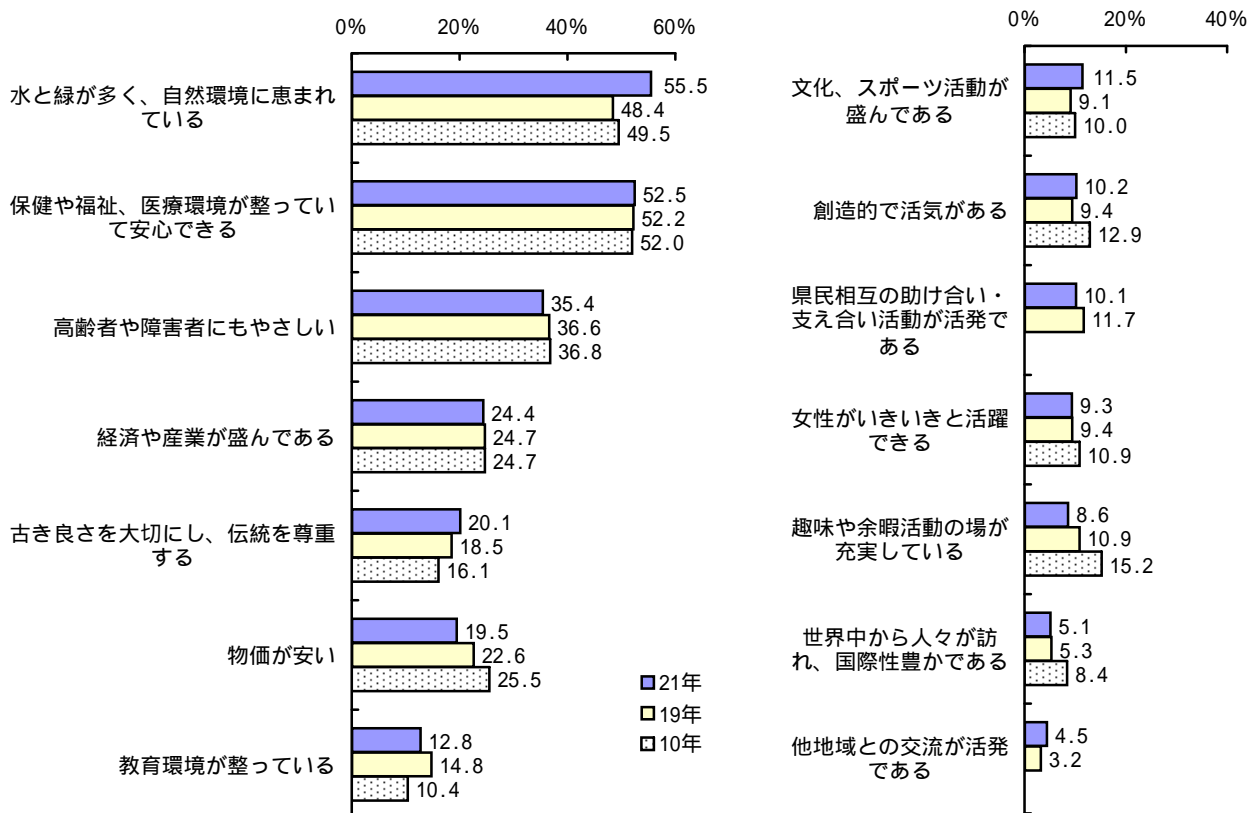
また、今後、愛媛県のあるべき姿について、あなたのイメージに近いものを次の中から三つまで選んで番号を で囲んでください。

(複数回答) (%)

| | | |
|----|-------------------------|------|
| 1 | 水と緑が多く、自然環境に恵まれている | 55.5 |
| 2 | 物価が安い | 19.5 |
| 3 | 経済や産業が盛んである | 24.4 |
| 4 | 教育環境が整っている | 12.8 |
| 5 | 保健や福祉、医療環境が整っていて安心できる | 52.5 |
| 6 | 趣味や余暇活動の場が充実している | 8.6 |
| 7 | 文化、スポーツ活動が盛んである | 11.5 |
| 8 | 創造的で活気がある | 10.2 |
| 9 | 県民相互の助け合い・支え合い活動が活発である。 | 10.1 |
| 10 | 古き良さを大切にし、伝統を尊重する | 20.1 |
| 11 | 他地域との交流が活発である | 4.5 |
| 12 | 世界中から人々が訪れ、国際性豊かである | 5.1 |
| 13 | 高齢者や障害者にもやさしい | 35.4 |
| 14 | 女性がいきいきと活躍できる | 9.3 |
| 15 | その他 | 1.2 |

愛媛県の今後あるべき姿のイメージを聞いたところ、「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人の割合が55.5%、「保健や福祉、医療環境が整っていて安心できる」が52.5%で特に多く、以下「高齢者や障害者にもやさしい」(35.4%)、「経済や産業が盛んである」(24.4%)、「古き良さを大切にし、伝統を尊重する」(20.1%)、「物価が安い」(19.5%)などの順となっている。

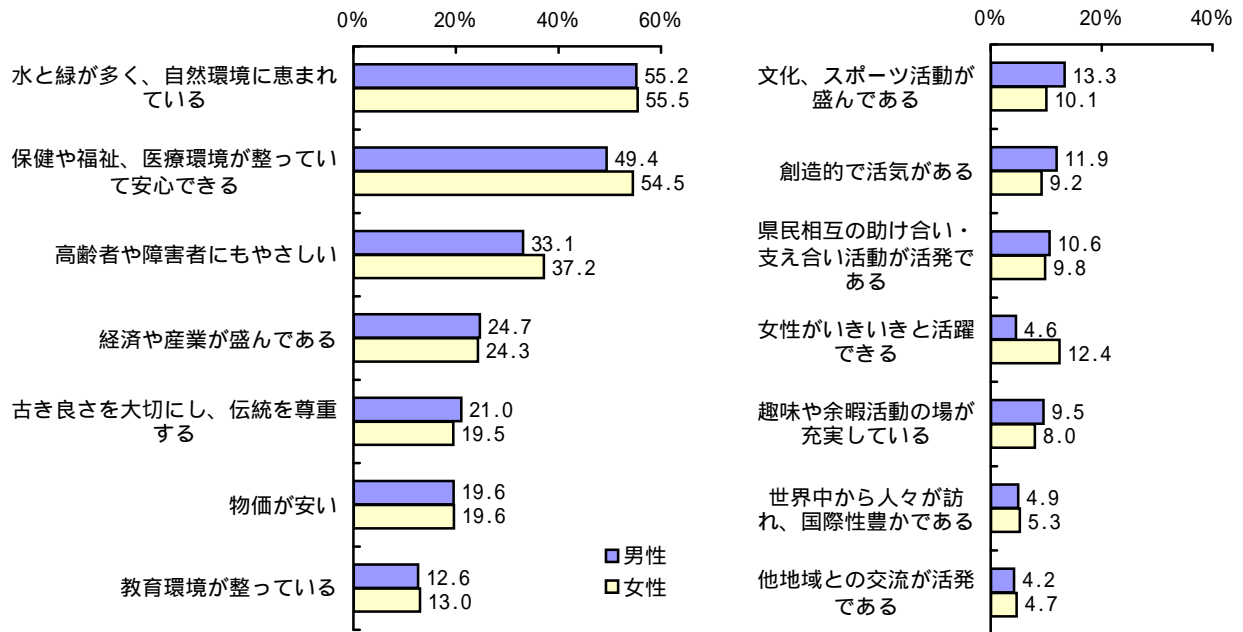
また、前回調査と比較すると、「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人の割合が7.1%増加(平成10年調査より6.0%増加)し第1位となっているほか、「古き良さと大切にし、伝統を尊重する」は1.6%増加、「物価が安い」は3.1%減少(平成10年調査より6.0%減少)している。



【性別】

性別にみると、男女共に「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人の割合が最も多くなっており、前回調査よりも男性で5.8%、女性で6.7%増加している。

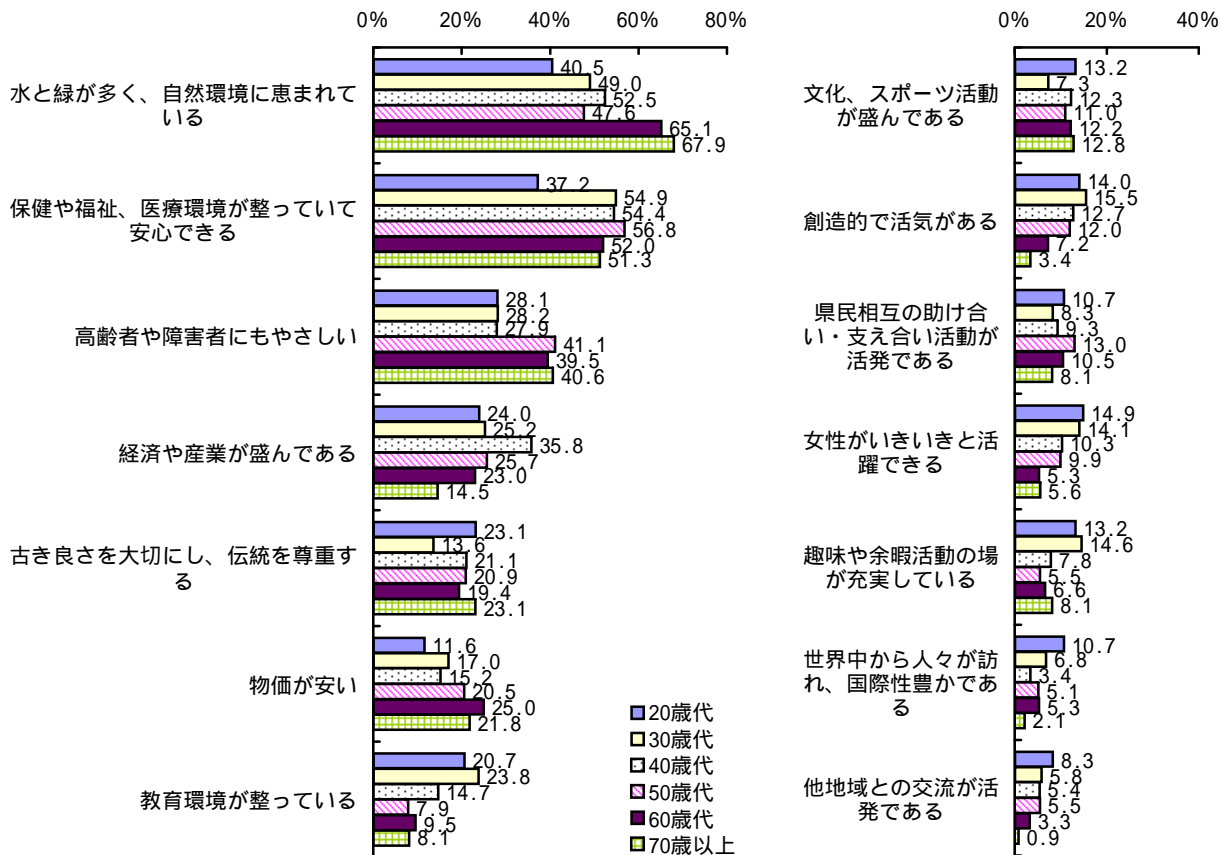
また、「保健や福祉、医療環境が整っていて安心できる」、「高齢者や障害者にもやさしい」、「女性がいきいきと活躍できる」などは女性の方が多くなっており、「文化、スポーツ活動が盛んである」、「創造的で活気がある」などは男性の方が多くなっている。



【年齢別】

年齢別にみると、20歳代、60歳代以上では「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人の割合が最も多く、30歳代から50歳代では「保健や福祉、医療環境が整っていて安心できる」が最も多くなっている。これらの2項目においては、20歳代で他の年齢層と比較して少なくなっている。

また、「高齢者や障害者にもやさしい」と答えた人の割合は50歳代以上で、「経済や産業が盛んである」は40歳代（前回調査より10.2%増加）で、「物価が安い」は60歳代で、「教育環境が整っている」は30歳代以下で他の年齢層と比較して多くなっているほか、「古き良さを大切にし、伝統を尊重する」は30歳代で他の年齢層と比較して少なくなっている。

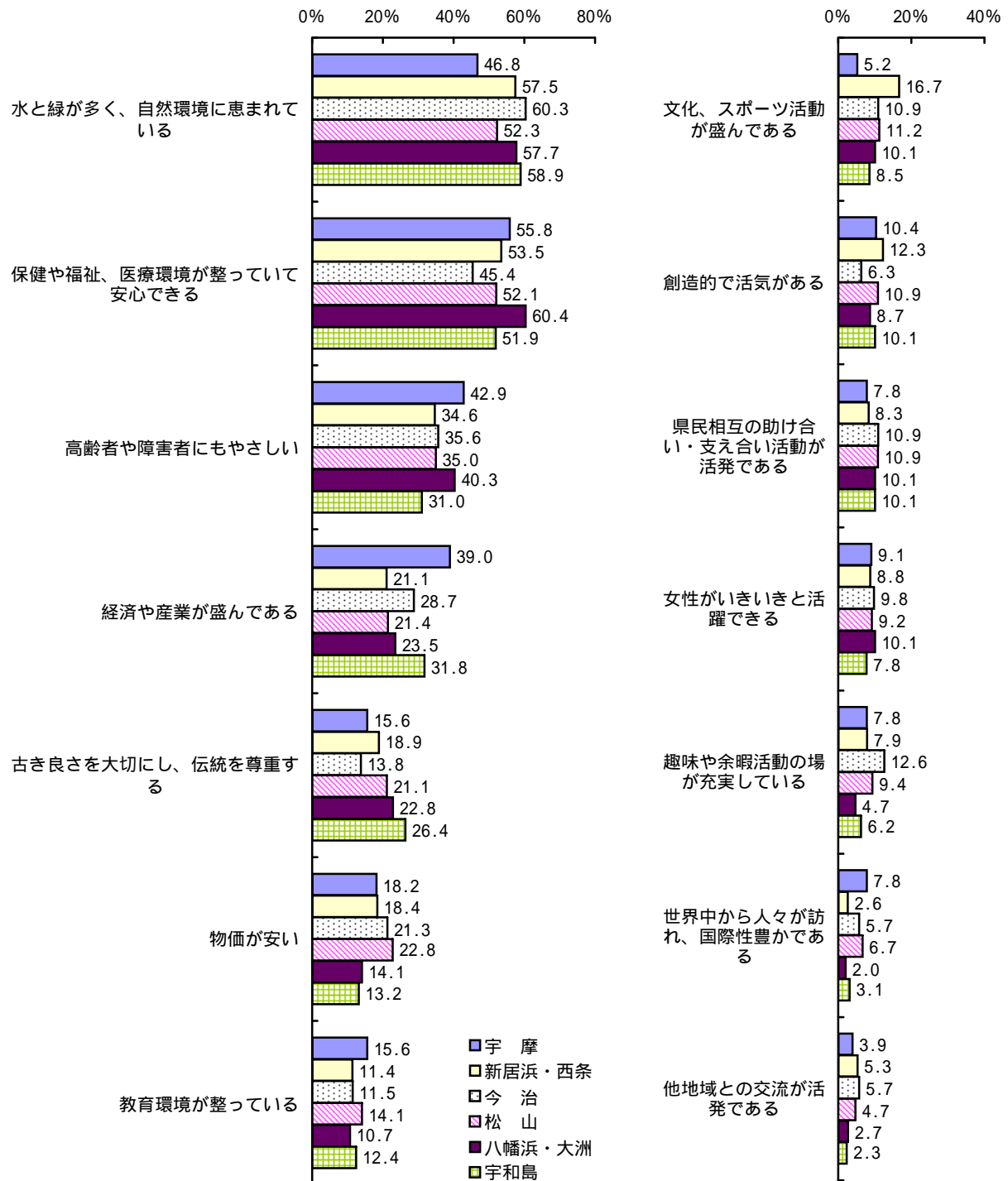


【生活圏域別】

生活圏域別にみると、新居浜・西条圏域、今治圏域、松山圏域、宇和島圏域では「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人の割合が最も多くなっており、中でも今治圏域で前回調査より16.9%増加している。宇摩圏域、八幡浜・大洲圏域では「保健や福祉、医療環境が整っていて安心できる」が最も多くなっており、中でも八幡浜・大洲圏域で前回調査より11.7%増加している。

また、「高齢者や障害者にもやさしい」と答えた人の割合は宇摩圏域、八幡浜・大洲圏域で、「経済や産業が盛んである」は宇摩圏域で、「古き良さを大切に、伝統を尊重する」は宇和島圏域で、「物価が安い」は松山圏域で、「文化、スポーツ活動が盛んである」は新居浜・西条圏域で他の圏域と比較して多くなっている。

なお、宇摩圏域では、「高齢者や障害者にもやさしい」が前回調査より22.5%減少している一方、「経済や産業が盛んである」が17.8%増加している。

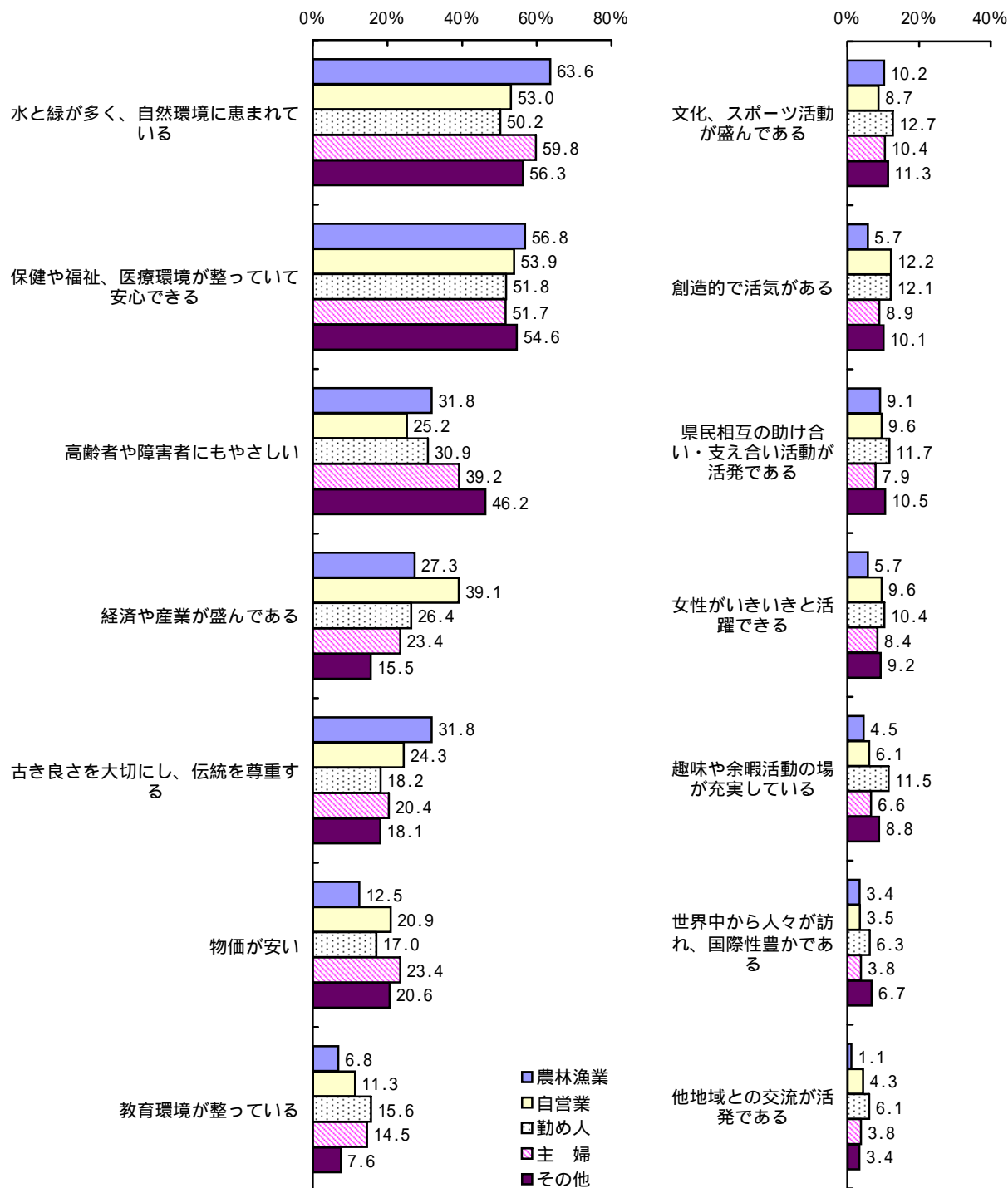


【職業別】

職業別にみると、農林漁業、主婦、その他では「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人の割合が最も多くなっており、中でも主婦で前回調査より12.4%増加している。自営業、勤め人では「保健や福祉、医療環境が整っていて安心できる」が最も多くなっており、中でも自営業で前回調査より13.6%増加している。

また、「高齢者や障害者にもやさしい」と答えた人の割合はその他で、「経済や産業が盛んである」は自営業で、「古き良さを大切にし、伝統を尊重する」は農林漁業で、「物価が安い」は主婦で、「教育環境が整っている」は勤め人と比較して多くなっている。

この他、前回調査と比較すると、「経済や産業が盛んである」と答えた人の割合がその他で11.5%減少し、「物価が安い」は農林漁業で8.6%減少している。



4 県政への要望

問28 県政への要望

今後県政を進めていくうえで、あなたが特に力を入れてほしい施策は何ですか。次の（A）、（B）、（C）の中から一つずつ選んで番号を で囲んでください。

(%)

(A) 産 業

| | | |
|---|--------|------|
| 1 | 農林業の振興 | 16.5 |
| 2 | 水産業の振興 | 2.7 |
| 3 | 商工業の振興 | 4.5 |
| 4 | 中小企業対策 | 15.6 |
| 5 | 観光の振興 | 9.8 |
| 6 | 雇用対策 | 42.3 |
| 7 | 道路整備 | 7.9 |
| 8 | その他 | 0.6 |

(B) 生活環境

| | | |
|----|-----------------|------|
| 1 | 社会福祉の充実 | 26.6 |
| 2 | 子育て支援対策 | 14.7 |
| 3 | 医療、保健衛生機能の拡充 | 26.7 |
| 4 | ボランティア活動の活性化 | 1.4 |
| 5 | 物価・消費者保護対策 | 15.8 |
| 6 | 公害防止対策、自然環境の保全 | 4.2 |
| 7 | 上・下水道、ゴミ処理施設の整備 | 4.1 |
| 8 | 交通安全対策 | 1.2 |
| 9 | 犯罪防止対策 | 4.4 |
| 10 | 消防、防災対策 | 0.3 |
| 11 | その他 | 0.7 |

(C) 教 育

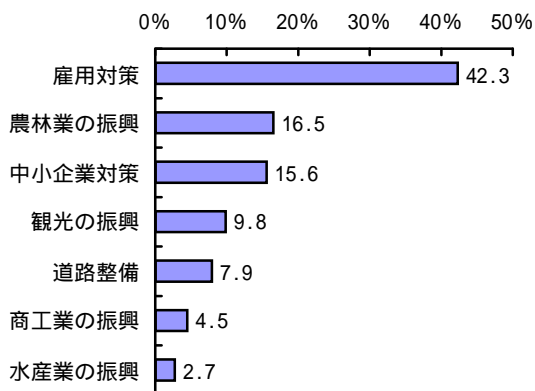
| | | |
|---|--------------------|------|
| 1 | 学校教育の充実 | 31.9 |
| 2 | 家庭教育の充実 | 11.8 |
| 3 | 社会教育の充実 | 21.0 |
| 4 | 青少年の健全育成 | 18.7 |
| 5 | 芸術、文化の振興 | 9.4 |
| 6 | スポーツ、レクリエーション活動の助長 | 6.3 |
| 7 | その他 | 0.9 |

(設問(B)の「2 子育て支援対策」「9 犯罪防止対策」、設問(C)の「4 青少年の健全育成」及び各設問の「その他」は今回調査から)

今後、県政に望む施策について、(A)産業、(B)生活環境、(C)教育の3点に分けて質問した結果は、次のとおりである。

《産業面》

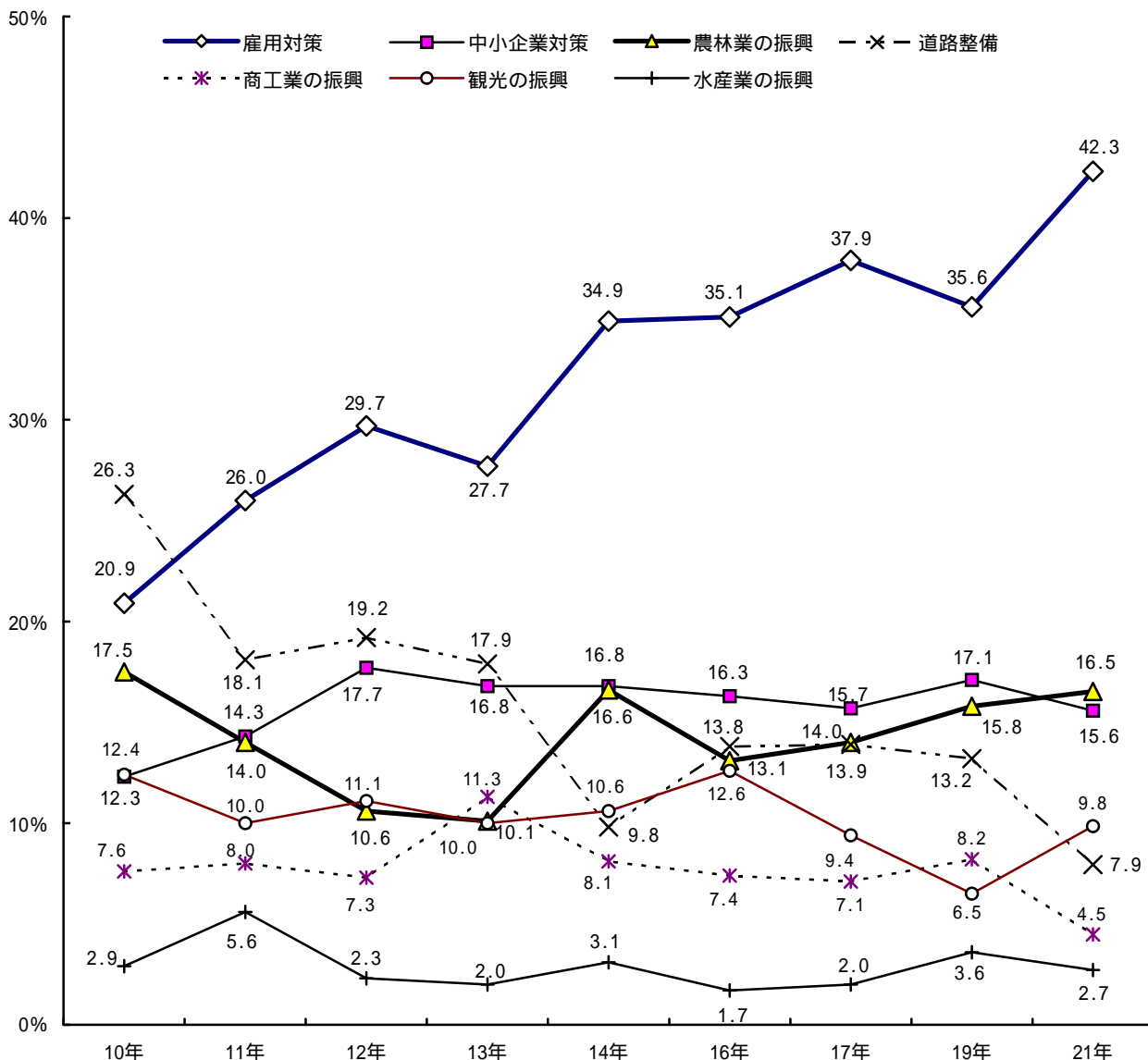
産業面で特に力を入れてほしいこととしては、「雇用対策」と答えた人の割合が42.3%と特に多く、以下「農林業の振興」(16.5%)、「中小企業対策」(15.6%)、「観光の振興」(9.8%)などの順となっている。



【経年変化】

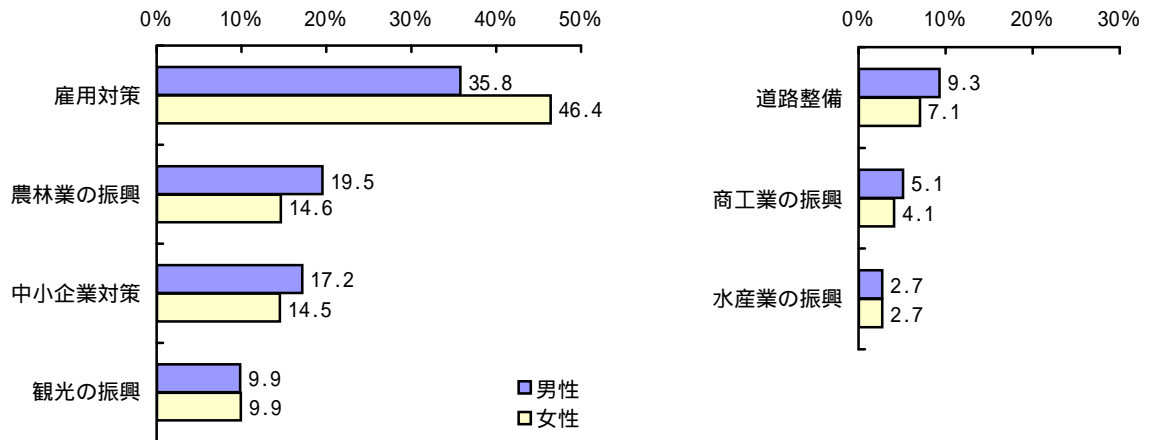
経年変化をみると、「雇用対策」と答えた人の割合が前回調査より6.7%増加し、平成10年調査と比較すると21.4%も増加している。

また、「農林業の振興」と答えた人の割合が16.5%で平成10年調査以降3番目に多くなっているほか、「道路整備」、「商工業の振興」は、共に前回調査より減少し平成10年調査以降最も少なくなっている。



【性別】

性別にみると、男女共に「雇用対策」と答えた人の割合が最も多くなっており、特に女性（46.4%：前回調査より5.3%増加）の方が男性（35.8%：前回調査より6.5%増加）より10.6%も多くなっている。また、「観光の振興」、「水産業の振興」と答えた人の割合は、男性と女性で同率になっており、その他の項目においては、男性の方が多くなっている。

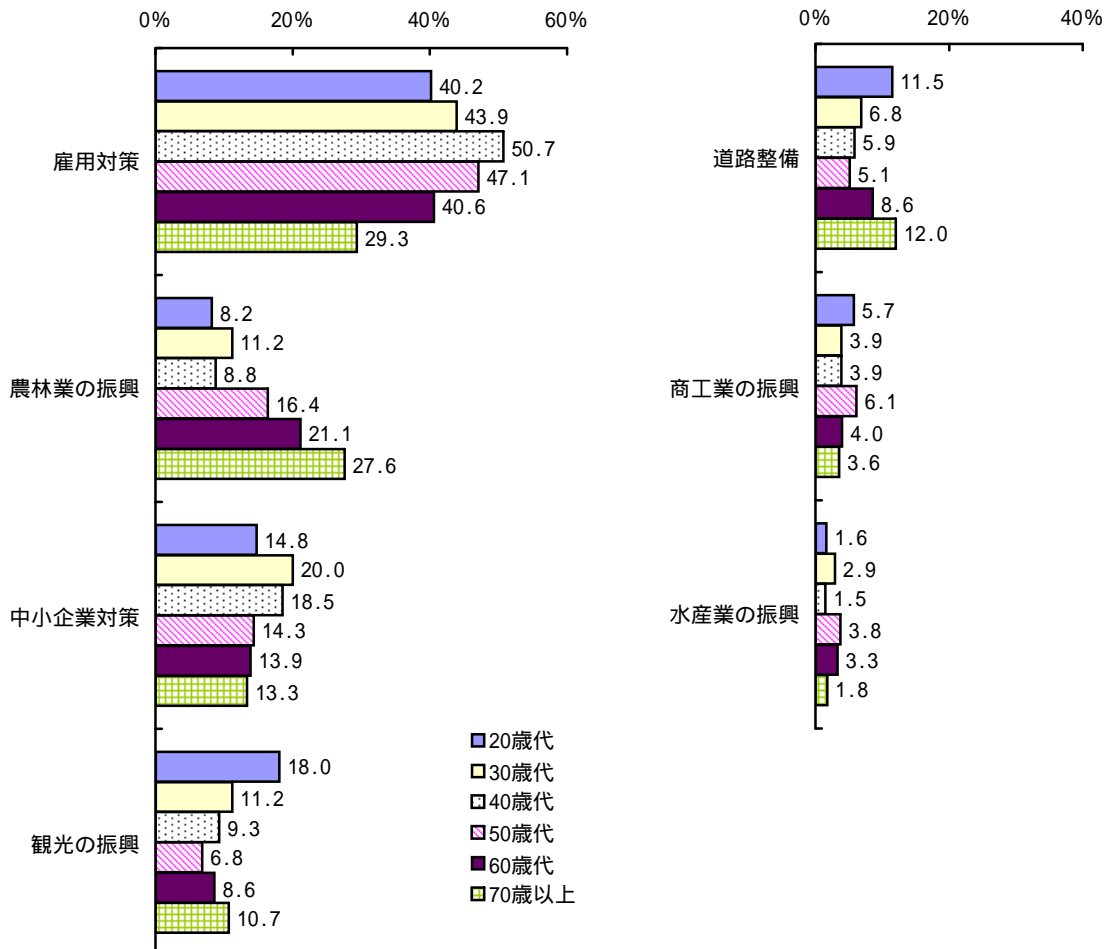


【年齢別】

年齢別にみると、全ての年齢層で「雇用対策」と答えた人の割合が最も多くなっており、中でも40歳代では50.7%（前回調査より21.6%増加）と他の年齢層と比較して多くなっているが、70歳以上では29.3%と他の年齢層と比較して特に少なくなっている。

また、「農林業の振興」と答えた人の割合は70歳以上で他の年齢層と比較して特に多くなっているほか、「中小企業対策」は30歳代、40歳代で、「観光の振興」は20歳代で、「道路整備」は20歳代、70歳以上で他の年齢層と比較して多くなっている。

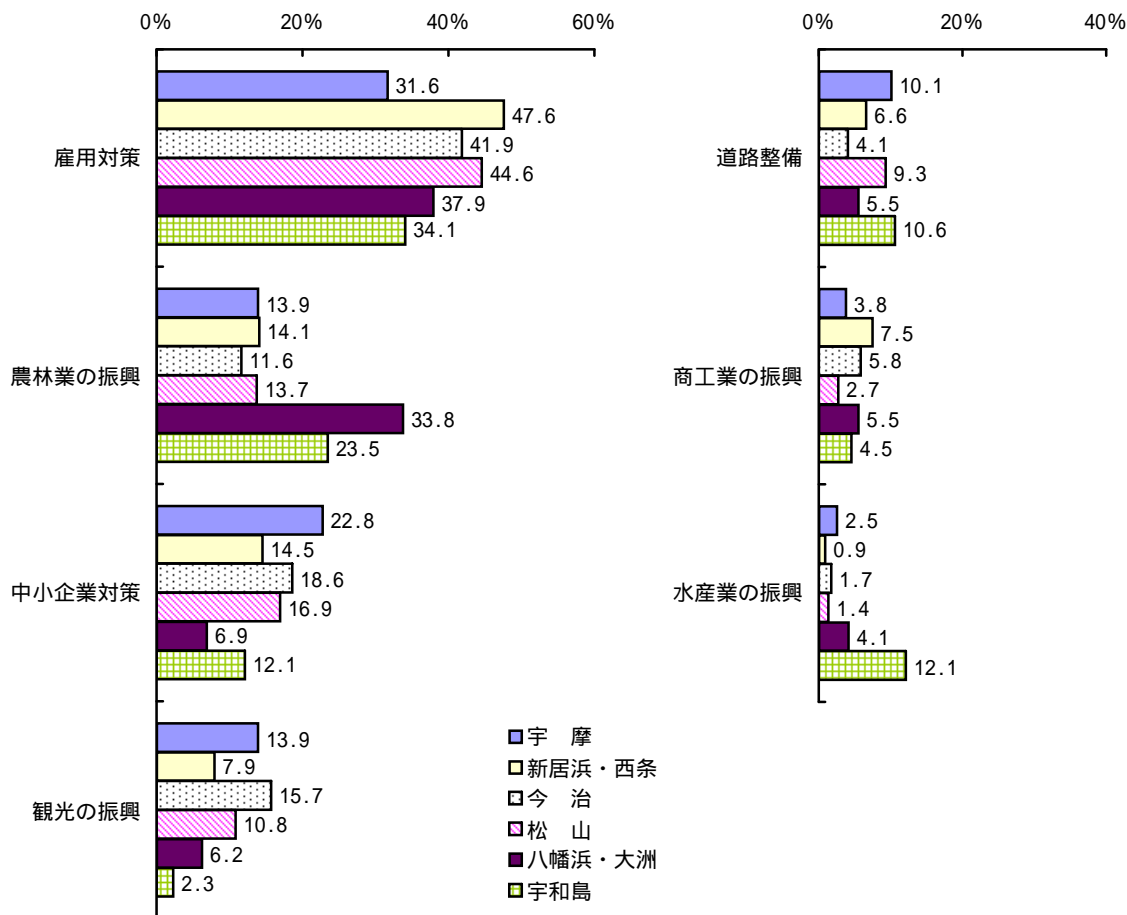
この他、前回調査と比較すると、「農林業の振興」と答えた人の割合が50歳代で8.5%増加し、「道路整備」は40歳代で9.8%減少している。



【生活圏域別】

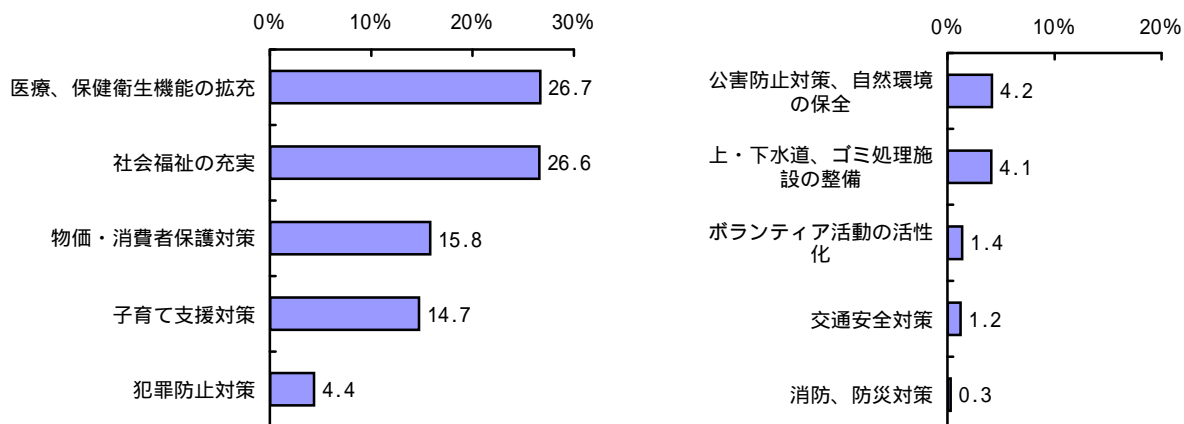
生活圏域別にみると、全ての圏域で「雇用対策」と答えた人の割合が最も多くなっており、新居浜・西条圏域では47.6%に達しているほか、前回調査との比較では、宇摩圏域（10.8%増加）、今治圏域（12.5%増加）で大きく増加している。

また、「農林業の振興」と答えた人の割合は八幡浜・大洲圏域（前回調査より12.3%増加）で他の圏域と比較して特に多くなっているほか、「中小企業対策」は宇摩圏域で、「観光の振興」は宇摩圏域（前回調査より10.1%増加）、今治圏域で、「道路整備」は宇摩圏域（前回調査より12.5%減少）、松山圏域、宇和島圏域（前回調査より8.5%減少）で他の圏域と比較して多くなっている。



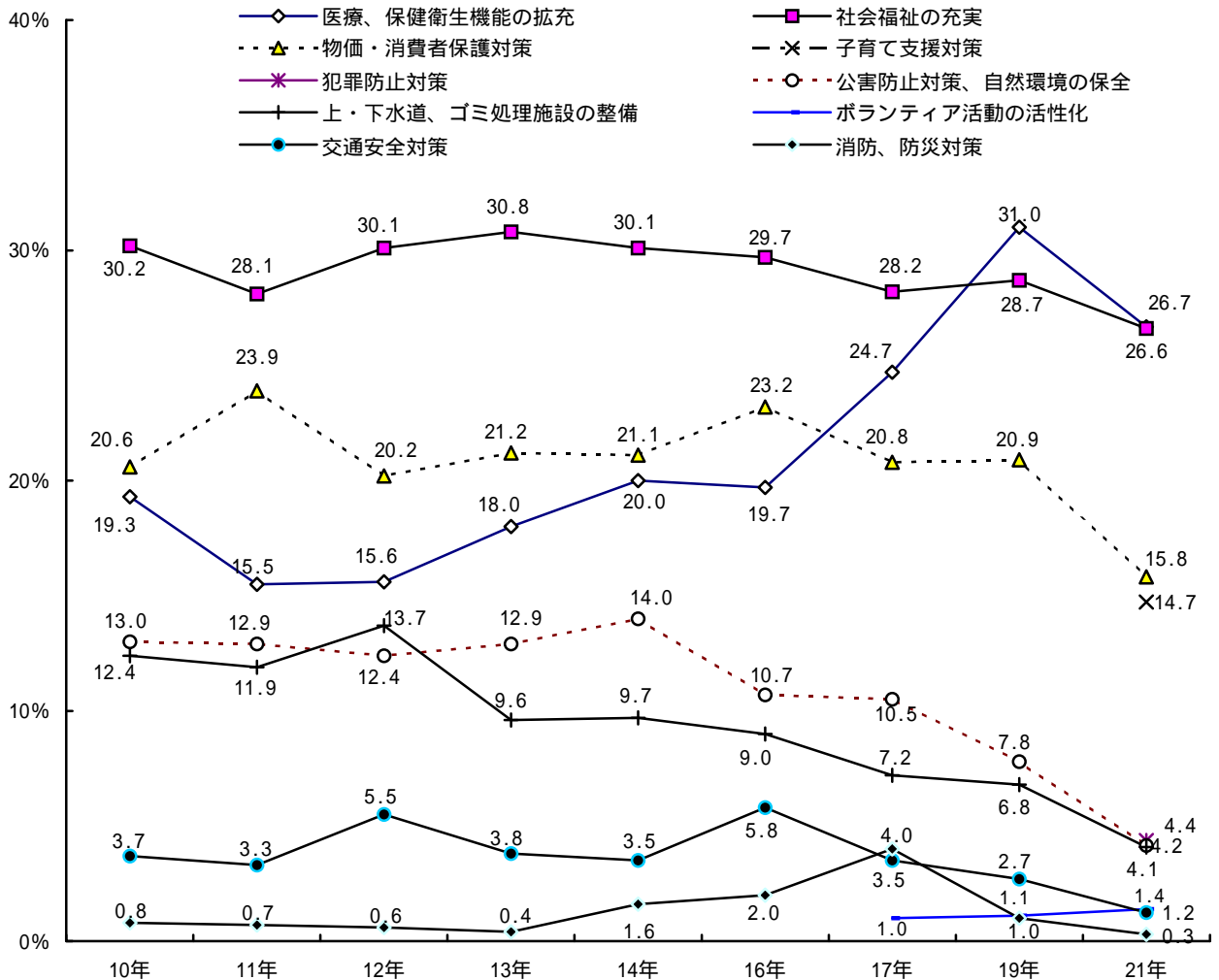
《生活環境面》

生活環境面で特に力を入れてほしいこととしては、「医療、保健衛生機能の拡充」と答えた人の割合が26.7%、「社会福祉の充実」が26.6%でほぼ同率で多くなっており、以下「物価、消費者保護対策」（15.8%）、「子育て支援対策」（14.7%：今回調査からの新たな選択肢）、「犯罪防止対策」（4.4%：今回調査からの新たな選択肢）などの順となっている。



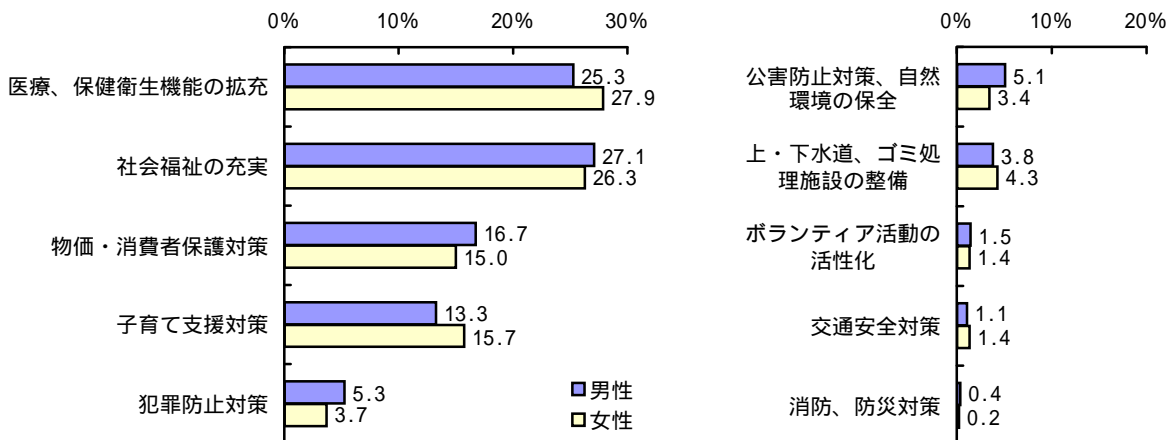
【経年変化】

経年変化をみると、「医療、保健衛生機能の拡充」と答えた人の割合が、平成16年調査以降急激に増加していたが、今回は前回調査より4.3%減少している。
 また、「社会福祉の充実」と答えた人の割合は、やや減少傾向にあり、平成10年調査以降最も少なくなっている。
 なお、今回から選択肢に加えた「子育て支援対策」が14.7%を占めている。



【性別】

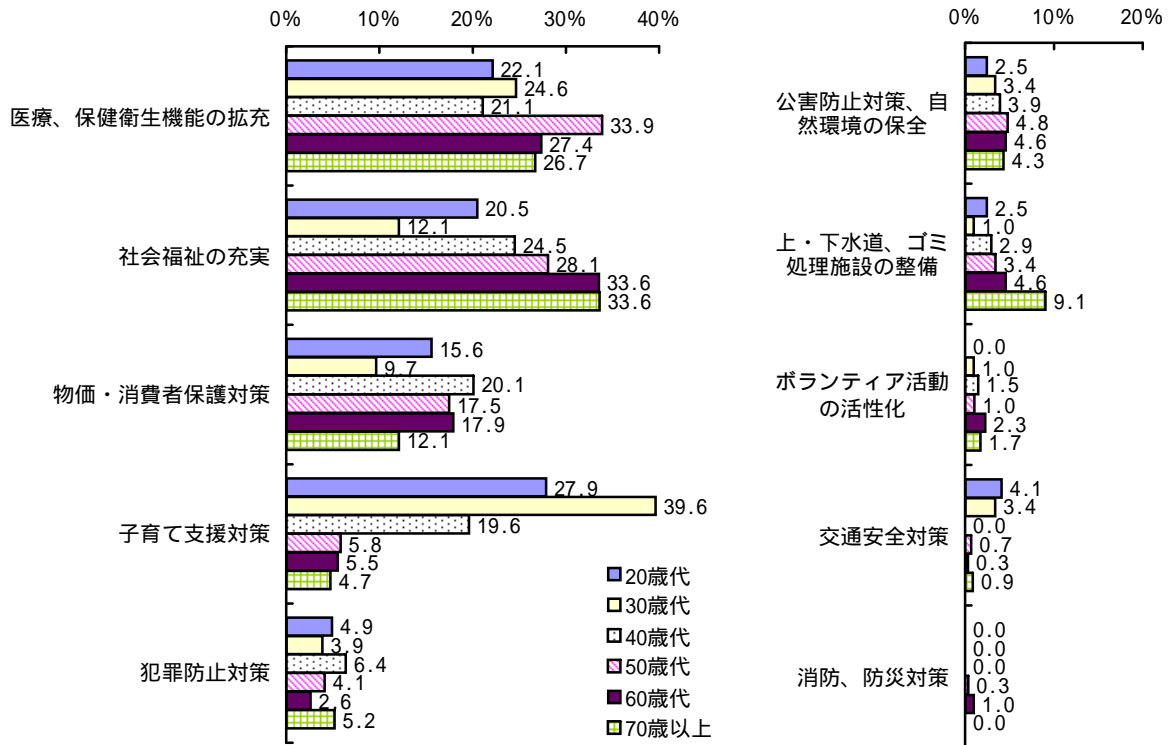
性別にみると、女性では「医療、保健衛生機能の拡充」と答えた人の割合が最も多く、男性では「社会福祉の充実」が最も多くなっている。
 また、「物価・消費者保護対策」、「犯罪防止対策」、「公害防止対策、自然環境の保全」などは男性の方が多く、「子育て支援対策」、「上・下水道、ゴミ処理施設の整備」などは女性の方が多くなっている。



【年齢別】

年齢別にみると、50歳代では「医療、保健衛生機能の拡充」と答えた人の割合（前回調査より9.4%増加）が、40歳代、60歳代以上では「社会福祉の充実」が、30歳代以下では「子育て支援対策」が最も多くなっている。

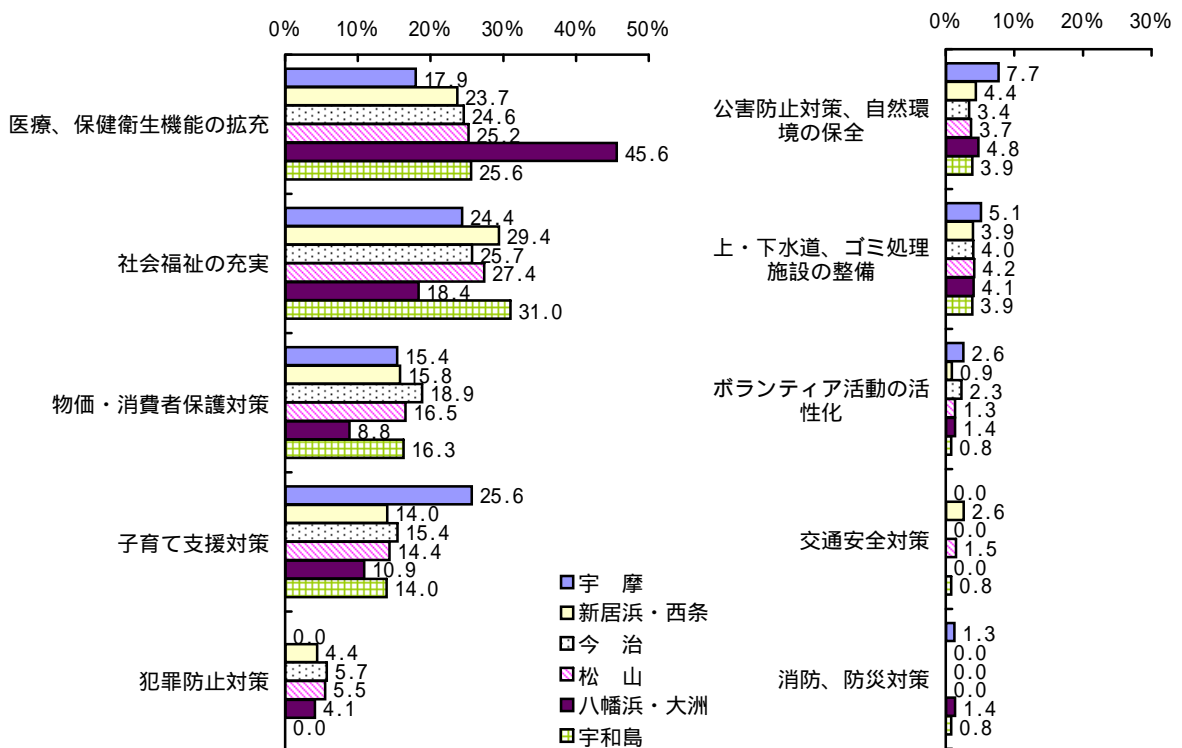
また、「物価・消費者保護対策」は40歳代から60歳代で、「子育て支援対策」は40歳代以下で他の年齢層と比較して多くなっており、特に30歳代では、39.6%と突出している。



【生活圏域別】

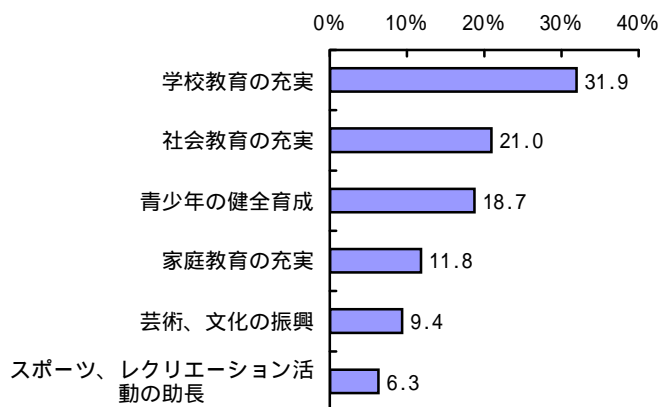
生活圏域別にみると、八幡浜・大洲圏域では「医療、保健衛生機能の拡充」と答えた人の割合（前回調査より5.8%増加）が、宇摩圏域では「子育て支援対策」が最も多くなっており、他の圏域と比較しても突出して多くなっている。新居浜・西条圏域、今治圏域、松山圏域、宇和島圏域では「社会福祉の充実」が最も多くなっている。

また、「社会福祉の充実」、「物価・消費者保護対策」と答えた人の割合は八幡浜・大洲圏域で他の圏域と比較して特に少なくなっているほか、「公害防止対策、自然環境の保全」は宇摩圏域で他の圏域と比較して多くなっている。



【教育面】

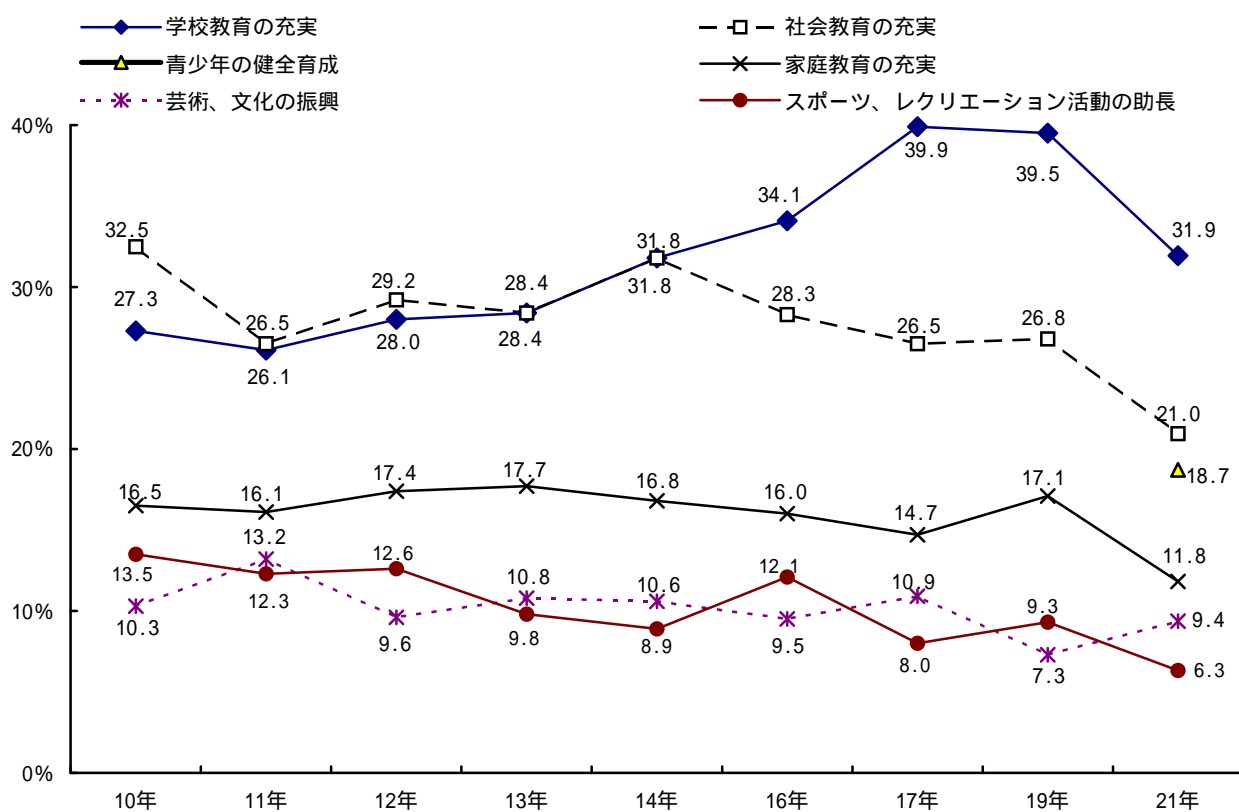
教育面で特に力を入れてほしいこととしては、「学校教育の充実」と答えた人の割合が31.9%と最も多く、以下「社会教育の充実」（21.0%）、「青少年の健全育成」（18.7%：今回調査からの新たな選択肢）、「家庭教育の充実」（11.8%）などの順となっている。



【経年変化】

経年変化をみると、「学校教育の充実」と答えた人の割合が増加傾向にあったが、今回は前回調査より7.6%減少している。

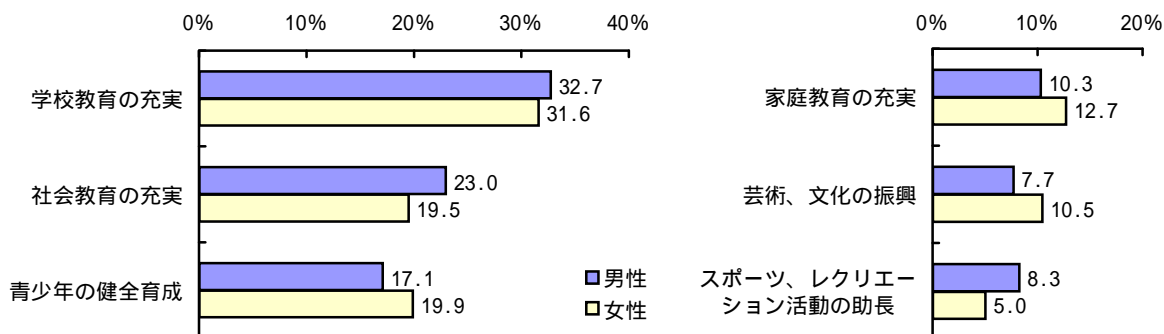
なお、今回から選択肢に加えた「青少年の健全育成」が18.7%を占めている。



【性別】

性別にみると、男女共に「学校教育の充実」と答えた人の割合が最も多くなっている。

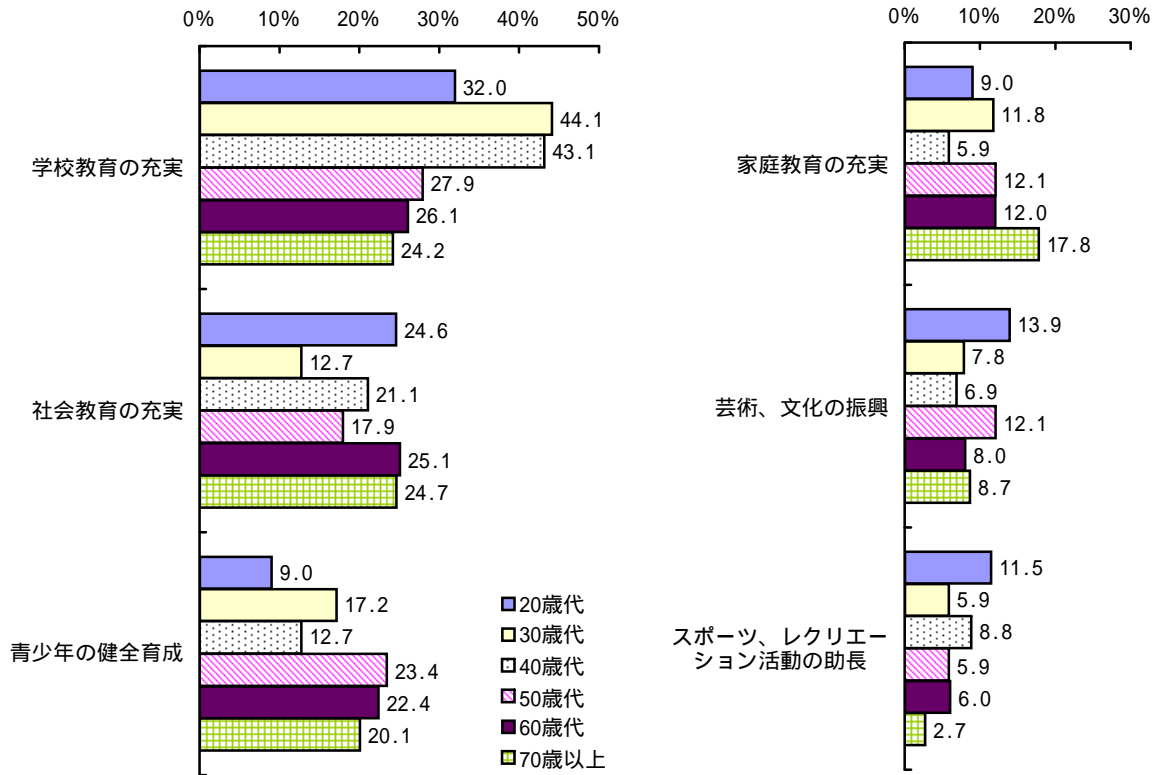
また、「社会教育の充実」、「スポーツ、レクリエーション活動の助長」と答えた人の割合は男性の方が多く、「青少年の健全育成」、「家庭教育の充実」、「芸術、文化の振興」は女性の方が多くなっている。



【年齢別】

年齢別にみると、70歳以上を除く全ての年齢層で「学校教育の充実」と答えた人の割合が最も多く、中でも30歳代、40歳代では他の年齢層と比較して特に多くなっている。70歳以上では「社会教育の充実」が最も多くなっている。

また、「社会教育の充実」と答えた人の割合は20歳代、60歳代以上で、「青少年の健全育成」は50歳代以上で、「家庭教育充実」は70歳以上で他の年齢層と比較して多くなっている。



【生活圏域別】

生活圏域別にみると、全ての圏域で「学校教育の充実」と答えた人の割合が最も多くなっている。また、「社会教育の充実」、「家庭教育充実」と答えた人の割合は宇和島圏域で、「青少年の健全育成」は新居浜・西条圏域で他の圏域と比較して多くなっている。

